

No.4

昭和 40 年 11 月 13 日

会報

静岡県公立高等学校
P T A 会長連絡会

北海道大会に参加して

県公立高校 P T A 会長連絡会

会長 志田勝次郎

高校 P T A が悩んで居る問題

の中で最も重大な案件として考えられて居るのが大学増強で、あらうかと思う、この

解決を困難ならしめる原因の一につい、人口のピークが二ヶ年であると云う事がある。大

学志願者が今年より急増するとしても若しこの状態が五年

とが八年も続くものとすれば解法はちがつて来ることであ

る。国立校、私立校を通じて拡張の縮少が待ちかまえて居る事では、急増がどう様な形をとるか心もとない

ものがある。私達はこの事情を知つて居るが、それでも増強問題に努力をおしむわけには行かないものである。

本年の全国高等学校 P T A 大会が札幌市に於て開催され静岡県からも十数名が参加いたしました。七月二十六日に

理事会と総会があり二十七日二十八日が大会でありました。先づ驚いた事は参加者数

当はずれであることが証明さが、この遠隔の地であるにもかかわらず、従来より相当数が多い事であります。北海道の観光的魅力が大勢の人々を集めたのかも知れないと云う憶測は大会に入つて全く見

当はずれであることが証明さ

れた。全国高 P の事務局増強問題、大学増強問題等、種々の案件が白熱的の討論が出たのがせんじめれば結局は大学増強問題が焦点であったと云える。

大会が採択した決議は左の通りである。

一、大学進学希望者急増対策について

二、能研テストの推進について

三、高校教職員定数法の改正について

四、文部省に高校教育を専門に担当する局課の設置について

以上の四件であります。

来月中旬には東京に於て大学増強問題についての全国理事会が開催されます。この問題に対しても私は一層の努力が続けられなければならない。北海道大会の盛り上げられて居ることを報告して大会記と致し度いと思います。



全国高P第15回大会に 本県提出議題採択される

一、三年生の求職斡旋時期について

全国高P連の名のもとに、教育に支

障を来さぬよう文部省、日経連等に

陳情し働きかけるように採択全員一致で決議された。

「P.T.A.会費について」

P.T.A.会費と後援会費とを区別し、P.T.A.会費の使途を明らかにし、P.T.A.本来の活動を重視し使用するよ

うにと採択、全員一致で決議された

昨年の全国高P大会決議事項 推進結果

一組織と協力でー

1. 文部省に新たに高校教育課を新設する見込み。

2. 高校生の登下校時、水産高校練習時の見込み。

3. 災害は災害給付の対象とする。

4. 全国高P理事会の決議事項の中から

—10月14日於東京—

1. 事務局強化のため、来年度より全国高P負担会費を倍額に増額することに決定。
2. 全国高P顧問に、前文部次官内藤督三郎氏（参議院議員）を推薦することに決定。

第16回高P全国大会開催表

昭和41年8月3・4両日、一万人も収容

できるという高知市県民ホールの大金場で開催と決定、地元では首相・文相の出席も求め、盛大に挙行したいと熱望し、各県より挙つて参加方を希望している。

昭和41年度大学入学

増員措置について

一文部省係官説明ー

設置者	区	分	増員措置人員	
			公立	私立
増加措置数	(A)	六、〇〇〇	六、〇〇〇	
増加実員	(B)	二、〇〇〇	二、〇〇〇	
(C)				
増加措置数	(D)	三一、〇〇〇	三一、〇〇〇	
増加実員	(E)	五〇、一一〇	五〇、一一〇	
(F)				
増加措置数	(G)	五八、二二〇	五八、二二〇	
増加実員	(H)	三九、〇〇〇	三九、〇〇〇	
(I)				

地区別協議会の推進を

一各地区の実情に即してー

従来から要望のあつた地区別協議会に僅かではあるが、本会より補助金をさしあげ、有意義に推進していくだくよう、

10月15日の理事会で県費補助の追加予算更正に付随して協議決定された。そして理事会の意向として各地区に別表のよう

に世話をご依頼したいのでご了承願いたい。また、県立、市立、校種別、特殊

学校、定時制等、それぞれ相互に観察理解を深め、県下九十二の公立高校P.T.A.が

相提携して「期待される人間像」への育成に、協力発展を祈念するものである。

昭和40年度 高P連のあゆみ

4・28

会計監査・理事会

昭和40年度運営方針・総会準備・

表彰候補者詮衝等

本県より志田会長外12名参加表彰者
山下吉松（修善寺高等学校）
平岡昌一（清水西高校）
佐藤五八郎（浜松商高校）
表彰者（本県関係）

5・12

総会（於水産会館）
席）
昭和39年度事業並決算報告
昭和40年度役員選出（別掲）

6・22

高P全国大会参加と提出議題について
講演 体育・スポーツの振興について
新年度運営方針・事業計画並予算案審議
（大島講師）

7・3

懇談会（於 日興会館）
東海四県高P連絡会（於四日市、織田理事出席）

7・20

大学入学定員増・施設設備の拡充につき陳情

10・15

理事会（於 県民会館）
昭和40年度追加更正予算案と地区別局長出席

10・14

全国高P理事会（於東京 河井事務局長出席）

11・13

第2回研修会（於 水産会館）
期待される人間像について
（学芸大学長 高坂正謹講師）

11・13

次回研修会について
大学志願者急増対策について
その他

11・13

第2回研修会（於 水産会館）
期待される人間像について
（学芸大学長 高坂正謹講師）

11・13

会報 四号発行

印刷

編集兼

発行

静岡県民会館内

静岡県公立高等学校

P.T.A.会長連絡会

静岡県島田市本通五丁目

渡辺印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印 刷

印